

令和3年10月厚生文教委員会所管事務調査

1. 所管事務調査

(1) ICT教育の整備状況とGIGAスクール構想について

(調査主任：村越洋一)

調査理由（目的）

コロナ禍によってICT教育のハード整備は進んだが、教師や家庭の対応状況はどうか。またICTを活用した個別最適化学習への今後の取り組みが課題となるが対応について調査する。

調査項目

- ハード整備状況と学習等での利活用の実態について
 - ・市内学校のタブレット・ICT機器、家庭での活用、タブレット・無線ルーター等。
- 端末利用のトラブルについて
 - ・いじめ等子どもの安全を守る対策、メディアコントロール。
- ハード、ソフト、人の今後の対応について
 - ・保守・維持、人材育成、個別最適化、ホームページ・メール・SNS等の活用。

(2) 図書館等複合施設整備の現状と共用に向けた準備、利用者のための周辺整備について

(調査主任：佐藤栄一)

調査理由（目的）

令和7年度共用（予定）に向けて妙高市総合教育基本計画等に則り適切な整備が進められているか調査する。

調査項目

- 新図書館の機能について
 - ・電子図書やICT化、分館や市全体へ向けたサービス。
- 新図書館の開館に向けた準備はどのようか
 - ・現状を含めた妙高市図書館のありかた、目指す姿について（図書館運営、指定管理者、図書館協議会、収集計画など）
- 新図書館の周辺整備について
- 現在の図書館業務委託の状況と課題について

(3) 子ども子育て支援事業について (調査主任：八木清美)

調査理由（目的）

子育て広場の一元化について具体的にどのように進めていくのか。近年、

特別支援が必要な児童が増加している中で、より地域と連携した学習の充実が求められる。当市の場合について調査する。

調査項目

●子育て広場について

- ・ 子育て広場の一元管理、一元提供の場を充実させる具体策はなにか。
- ・ 新図書館の1階において具体的に子育て広場はどのように運営していくのか。

●放課後児童クラブについて

- ・ 近年の放課後児童クラブの会員数と利用者数について実態はどのようか。
- ・ 全体11カ所の利用実態はどのようか。
- ・ 学習支援を推進するための地域人材の育成について現状はどのようか。
- ・ 家庭教育支援の取り組みについて今後の考え方はどのようか。
- ・ 支援者や支援チームをより充実させ、子育て世代と関わり支援者を増やしてはどうか。

(4) 妙高高原地域の小学校統合について (調査主任：関根正明)

調査理由(目的)

小学校統合について、北小学校と南小学校のPTA、保護者の中で温度差があると聞いており、経過と進捗状況及び現状と課題、今後について調査する。

調査項目

●これまでの経過と進捗状況について

- ・ 南小学校は令和2年9月に、こども園では同年12月に、北小学校では令和3年2月に、今後の学校運営について、全保護者を対象にアンケート調査を実施しているが、その結果は。
- ・ 北小学校は昨年度中に学校だよりで保護者・地域に知らせているが、南小学校は運営検討協議会が発足してからと聞いているが、その理由は。
- ・ 当初、統合は令和8年と計画されていたと思うが、令和5年4月1日にも統合と案が出されているが、その理由はどのようか。
- ・ 8月31日に北小学校で、9月1日に南小学校で説明会を開催したと聞いているが、その反応は。

●現状と今後の課題について

- ・ 学校の位置について議論されているが、それを急ぐ理由は。
- ・ 運営検討協議会で校歌・校章・校旗・学校PTA部会の組織・運営等踏みこんだ議論におよんでいるようだが、その真意は。